

占領下の沖縄で米軍の圧政と闘った男の生き様を、貴重な映像で描くドキュメンタリー映画

アメリカ
**米軍が
最も恐れた男**
その名は、カメジロー

一握りの砂も、一坪の土地も
アメリカのものではない

監督：佐古忠彦 撮影：福田安美 音声：町田英史 編集：後藤亮太 エグゼクティブプロデューサー：藤井和史
プロデューサー：大友淳 秋山浩之 語り：山根基世、大杉 テーマ音楽：「Sacco」作曲・演奏 坂本龍一
2017年/日本/日本語/カラー(一部モノクロ)/ビスタ/ステレオ/107分/配給：彩プロ ©TBSテレビ www.kamejiro.ayapro.ne.jp

何かを決めようとするとき、事実を知ることがとても大切。でも、事実を知ってたやすくはない。だから、わたしは映画を見に行く。

● 字幕・音声ガイド付きバリアフリー上映 視覚・聴覚で不自由なお知り合いもお誘いください。予約不要。直接会場におこしください。
● お目の不自由な方へ前日までに連絡ください。午後1時15分に相模大野駅中央改札口から誘導します。● お耳の不自由な方へ受付にて手話と筆談でお迎えます。

2018年

8月10日(金)

開場 PM1:30
上映開始 PM2:00

入場料
1000円

会場

相模女子大学グリーンホール
多目的ホール

相模原市南区 相模大野 4-4-1
相模大野駅下車 伊勢丹となり

中学生以下・障がい者の付添いの方 無料

後援：相模原市 相模原市教育委員会 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 主催 ● NPO 法人ここずっと ☎ 042-745-0676 e-mail：info@cocozutto.jp



沖縄の戦後史、 そこで闘った男の生き様を知れば、 地続きの歴史が見えてくる。

男は、ガジュマルをこよなく愛した。
「どんな嵐にも倒れない。沖縄の生き方そのもの」だと。
那覇市を、かつてたった11ヶ月だけ率いた、その男が好んで使った言葉がある。それは「不屈」。
1945年の終戦後、沖縄で、民衆の先頭に立ち、演説会を開けば毎回何万もの人を集めた男。
その名は、瀬長亀次郎。団結して立ち向かったのは、戦後沖縄を占領したアメリカ軍の圧政。
祖国復帰へ向けて民衆をリードした、その人物は、アメリカが最も恐れた男だった。

監督：佐古忠彦 × テーマ音楽「Saroo」：坂本龍一 × 語り：大杉 漣
筑紫哲也 NEWS23 元キャスター

JNNだけが持つ、
当時の貴重な資料映像の数々を
ふんだんに盛り込んだ
TBSテレビが本気で製作した
映画が遂に公開。

沖縄の抵抗の歴史にはカメジローがいた！
衝撃の史実が私の胸を貫いた。
不屈、孤高、群れない、妥協しない、恐れない。
米軍にとってさぞかし嫌な存在だったろう。
今の政治家はこの映画を見て、少しでも彼に近づけたい。

堀尾正明 (フリーキャスター)

戦中・戦後の沖縄を生きた政治家の
「氣迫」を描写した映画だ。
「不屈」の政治家を通して沖縄現代史を知ることができる。
瀬長氏を押さえずともした米軍だが、
それを悔やむ人たちの生の声も発掘している。

星浩 (TBS「NEWS23」キャスター)

もし今、亀次郎さんがいたら…
沖縄の苦しみを背負ったその視線は、
米軍の先に日本政府を見据えているのだらう。
不屈の魂の前に、思わずうつむいてしまふ
ヤマトンチュの自分がいることもまた思い知らされる。

吉永みち子 (ノンフィクション作家)

瀬長亀次郎の人間の魅力が活写され、
沖縄の歴史が動いたことが分かる。
テレビマンとしての長期間にわたる取材と、ときに挿入
される美しい沖縄の風土、国会での佐藤栄作との
対決にいたるまで一瞬たりとも目が離せない。

内藤誠 (映画監督)

統治者が最も恐れるのは「抗い続ける個」と、
カメジローは現代日本に問う。
同じく大杉漣氏が語り担当の
「ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎」と通底する
“真の反骨”! キクジローも凄い、カメジローも凄い!

秋本鉄次 (映画評論家)

沖縄は生きている。亀次郎の想いも生き続けている。
彼の行動はどれだけ勇気が必要で、
多くの人々を支えてきたのだろうか。
若者よ、この超大作でリアルな歴史と
生の声を知ってほしい。未来を造るのは私達だ。

吉田尚弘 (ドキュメンタリー写真家)

男らしい男=日本男児の気骨ある生き方！
その不屈の精神を貫いたドラマこそ、現代に喝！
戦争が残した傷は今も続いている。
だからこそ、戦争はあってはならない!

国弘よう子 (シンメパーソンナリティー)

沖縄にある米軍基地は日本がアメリカに対して
従属関係にある限り、消えそうにないが、
カメジローの「不屈」の運動はその理不尽なアメリカの
権力との戦いの象徴であり、元祖である。

大野和基 (国際ジャーナリスト)

米軍VS瀬長氏と県民の「不屈」の闘いを濃密に描いた
107分。今回特に強い印象を受けたのは、返還交渉に
携わった日・マックエルロイ氏への取材場面でした。
彼の客観的な声は、米軍基地関係者にこそ聞いてほしい。

大高博幸 (ビューティー エキスパート)

キング牧師やマンデラにも匹敵する、カリスマ性を持った
英雄=カメジロー。逆境に追い込まれるたび、
強化されていくホンモノの不屈の闘志に心奮い立たされた!

くれない響 (映画評論家)

感動の記録だ。
「沖縄のこころ」「オール沖縄」の原点がここにある。
亀さんは、多面的な個性とともに、その「不屈の魂」と
「抵抗の精神」が忘れられることのできない存在だった。
本土の人間は、余りに沖縄の歴史を軽視しているか、
知らな過ぎる。

岸井成格 (毎日新聞特別編集委員)

過去に悲惨な歴史を、
現在に苦しい実態を抱えている沖縄。
莫大な権力に向かって言葉、
根性そして結束で闘った亀次郎の手本は
今こそ思い出すべき。その屈しない姿を描きながら
佐古監督は後継者である今の国民に訴えかける。

パトリック・ハーラン (タレント)

監督：佐古忠彦 撮影：福田安美 音声：町田英史
編集：後藤亮太 エグゼクティブプロデューサー：藤井和史
プロデューサー：大友洋 秋山浩之 語り：山根基世、大杉漣
テーマ音楽：「Saroo」作曲：演奏 坂本龍一
音楽：坂本龍一、峯松崇、中村巴奈重、中野香梨、櫻井美希
2017年 / 日本 / 日本語 / カラー (一部モノクロ) / ビスタ /
ステレオ / 107分 / 配給：彰プロ ©TBSテレビ
www.kamejiro.ayapro.ne.jp

みんなで見たい映画だから

聴覚の不自由な方のための

わたしたちは字幕と音声ガイドをつくりました。

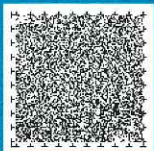
視覚の不自由な方のための

このまちで生まれた、手づくりの字幕・音声ガイドです。
障がいの有無なく、字幕・音声ガイドのある映画鑑賞は新しい体験となるはず。

コミュニティ・シアター

〈ここdeシネマ〉をつづけていくために、 ちからを貸してくだされませんか？

お客様が増えてくだされば、もちろん、継続していくちからになりますが、
見たい作品の字幕や音声ガイドをつくる費用まで含めると、継続していく資金は不足です。
〈ここdeシネマ〉継続開催のため、今後とも工夫を重ねたいと考えています。
そして、みなさまに人のちからと資金のちからをお貸しくださるよう呼びかけます。



主催



お問い合わせはこちらへ

NPO法人ここずっと

〒252-0303 相模原市南区相模大野9丁目6番18号
TEL 042-745-0676 FAX 042-742-0447
メール info@cocozutto.jp

後援：相模原市 相模原市教育委員会 社会福祉法人相模原市社会福祉協議会

だれとでも楽しめる
バリアフリー上映で

イヤホン付きFMラジオをお持ちください。
ラジオの貸出しもいたします。
(先着20名まで)

〈ここdeシネマ〉

開催カンパ振込口座
横浜銀行相模大野支店

普通 6041388

名義 NPO法人
ここずっと